



2023年5月31日

## プレスリリース

# 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」は説明責任と透明性を欠いている

現在、笹川陽平氏が務める「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」は、説明責任と透明性を完全に欠いている、と本日プログレッシブ・ボイスとメコン・ウォッチは述べました。詳細なマンデートと明確な任務がないため、特にミャンマー国軍が見せかけの選挙を計画していることに照らし、この日本政府代表の目的や活動について重大な懸念が持ち上がっています。

日本財団の会長である笹川陽平氏は、2013年2月25日に日本政府に「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」[以下、「特使」]に任命されました。以来、報道や氏のブログ投稿によれば、氏はおそらく特使としてミャンマーを何度も訪問し、「高官」や民族武装勢力と会合を持ってきました。しかし特使のマンデートの詳細は一般公開されたことはなく、特使の活動の正確な目的や範囲は今も知られていません。

2021年2月1日の未遂クーデター以降、ミャンマー国軍は3,500人以上を殺害し、ミャンマーの大統領とアウンサンスーチー国家顧問を含む22,700人以上を逮捕しています。ミャンマー国軍が空爆の使用を含めて民間人への攻撃を強めている中、同国の非合法軍政は非合法クーデターを正当化しようとするために見せかけの「選挙」の実施を計画しています。ミャンマーの人びとはこの見せかけの選挙に反対であることを明確に表明していますが、笹川氏は2月6日にタイのバンコクで報道各社に「民主化の第一歩は選挙。何が何でもやらないといけない」と述べ、「選挙」への支持を表明しました。

ミャンマーの406の市民社会団体は4月、「選挙」を支持する発言が特使としてのものだったのかを問い合わせる書簡を笹川氏に送りました。406団体はまた、特使の任務の詳細や、特使としての活動の予算や報酬、特使が日本政府内のどの部署に対して報告義務を負うのかも明らかにするよう求めました(付録1参照)。笹川氏から返信はありませんでした。

メコン・ウォッチも4月、外務省に情報公開請求を行い、特使がミャンマーを含む日本国外で活動した日時や期間、活動の目的、訪問先、面会相手、同席者についての情報を公開するよう求めました。外務省は、そのような情報に関する文書は存在しないと、いっさいの情報を開示しませんでした。メコン・ウォッチはこの回答について審査請求をし、同様の情報公開請求を内閣官房に対しても行いました。

上記と同じ406のミャンマー市民社会団体は5月、日本政府に書簡を送り、ここでも特使の任務について説明を求めました(付録2参照)。本日までに日本政府からの返信はありません。

ミャンマーの人権状況に関する国連特別報告者も先日、見せかけの選挙を支持する特使の発言について懸念を表明しました。

日本政府は軍政による見せかけの選挙の問題について公に声明を出していません。笹川氏の発言から直接影響を受けるミャンマーの数百の市民団体が表明した懸念を無視し続けることは、氏の発言を暗黙に支持することにつながります。これでは人権を守るアジアの主要な民主主義国家としての日本のイメージが損なわれることとなります。

プログレッシブ・ボイスとメコン・ウォッチは、ミャンマーの406の団体からの呼びかけをここに繰り返し、日本政府が見せかけの選挙についての立場を明らかにし、笹川氏の特使としての役割の詳細を公開するよう求めます。

プログレッシブ・ボイスの設立者・会長であるキン・オン・マーは次のように述べました。「誰であろうと、ジェノサイド、人道に対する罪、そして戦争犯罪を犯してきたミャンマー国軍を正当化するための企みであることが明らかなものへの支持を表明するのは非常に残念なことです。しかしそのような支持表明が『ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表』によってされたとすれば、それはあまりにも遺憾で憂慮すべきことです。正当な政府である国民統一政府(NUG)を持つミャンマーの人びとに対する侮辱でもあります」

メコン・ウォッチの木口由香事務局長は次のように述べました。「日本政府は特使のマンデートを明確に定めるべきです。また、特使は今回書簡を送ったミャンマー市民団体を含むステークホルダーと対話の上でミャンマーで活動すべきです。日本政府が透明性のないままの特使の活動を認め、かつ何も説明しないことで、ミャンマーの人々の不審を招いています。このような状態は、民主主義や法の支配を重んじる日本の国益にもそぐわないはずです」

連絡先:

木口由香(メコン・ウォッチ) info@mekongwatch.org

Khin Ohmar, Progressive Voice, info@progressive-voice.org

付録1: 2023年4月にミャンマーの406の団体が笹川陽平氏に送った質問

1. ミャンマー国軍の目論む「選挙」を「何が何でもやらないといけない」とする貴殿の発言は、日本政府代表としてのものだったのかをお答えください。
2. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」の任務と権限についてご説明ください。また、2021年のクーデター以降に変更、あるいは新たに追加された任務についてもご回答ください。
3. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」は、外務省のどの部局に報告の義務があるかをご説明ください。
4. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」として活動のための予算と、活動に対する報酬についてご説明ください。
5. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」としてミャンマーを含む日本国外で活動した日時・期間、活動の目的と内容(訪問先、面会相手、同席者を含む)をご説明ください。

付録2: 2023年4月にミャンマーの406の団体が日本の首相と外相に送った質問

1. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」の任務と権限についてご説明ください。また、2021年のクーデター以降に変更、あるいは新たに追加された任務についてもご回答ください。
2. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」は、日本政府のどの部局に報告の義務があるかをご説明ください。
3. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」として活動のための予算と、活動に対する報酬についてご説明ください。
4. 「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」としてミャンマーを含む日本国外で活動した日時・期間、活動の目的と内容(訪問先、面会相手、同席者を含む)をご説明ください。